

3. 活力ある産業 ①農業の振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次		
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・農地集積を進めるため、基盤整備を推進するとともに、中心経営体の規模拡大と効率的な営農につながる機械導入補助などの支援を図ります。 ・薬用作物(ミシマサイコ)の栽培実証で収穫までの成果を出すとともに、生産者の拡大と作物栽培の普及に向け取り組みます。 ・有害鳥獣の捕獲や防護柵設置の支援のほか、農作物の被害状況に応じた集落単位の対策を県の協力のもと実施し、野生鳥獣による農作物被害の軽減を図ります。 			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積について、農地中間管理機構などを活用した取組と、田植機など農機具の導入に支援することで、集積率は1.8%アップしましたが、目標達成には至りませんでした。 ・獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)の実証栽培を行い、収穫作業まで終えることができました(作付面積476.3㎡、収穫量7,910㍩)。また、生産者の拡大と作物栽培の普及を図るため、収穫などの成果について報告会を開催し、生産者を広く募集した結果、今後新たに3名の方が参加される予定となりました。 ・獣害対策について猟友会の協力を得て有害鳥獣の捕獲に努め、農地への防護柵設置支援などを行うとともに、集落単位の対策として、サル的大型捕獲檻の設置(仁柿地区)や、集落全体を囲う集落防護柵の設置により、農作物被害額の減少につなげることができました。 			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援することで農地集積の拡大をめざします。 ・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。 ・獣害に強い作物(ミシマサイコ等)について、生産者の拡大と作物栽培の普及に向け、更に取り組みを進めます。 ・更なる農作物被害の減少をめざして、引き続き有害鳥獣の捕獲と防護柵による予防などに支援を行います。また、猟友会との連携強化を図るとともに、三重県協力のもと先進事例などの情報収集と研究を行い、より効果的な獣害対策をめざします。 ・農道や用排水路など農業施設の修繕等を実施することで農家の負担軽減を図る支援に努めます。 			
評価者	農業委員会事務局長 山路 伸之		
令和5年度 実行宣言			
<p>タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に活用してもらうことで、農地利用の最適化をこれまで以上に効率的に推進していきます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>国からのタブレット端末が9月に納入され、納入後2回のタブレット端末操作研修を農地利用最適化推進委員に行いました。現在、タブレット端末を利用状況調査・現地立ち会い等に活用しています。タブレット端末の使い方研修の開催は予定どおり開催できましたが、農地利用最適化推進委員の中でタブレット端末の活用にかんがりの開きがあるため、積極的な活用を行ってもらえるように今後も研修等を行っていきます。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に積極的に活用してもらい、これまで以上に農地利用の最適化を効率的に推進していきます。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	51.0 %	54.0 %	57.0 %	60.0 %	
	実績	48.1 %	50.8 %	52.6 %	53.9 %	55.7 %	
	評価	—	A	B	C	C	
	今後の方針	担い手の規模拡大に向けた農業用機械や施設の導入に関する支援事業を行い、農地の集積を図ります。					
数値目標 ②	項目	実質化された人・農地プラン地区数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	105 地区	110 地区	115 地区	120 地区	
	実績	100 地区	104 地区	112 地区	114 地区	114 地区	
	評価	—	B	S	A	B	
	今後の方針	法改正により「人・農地プラン」が、法で定めた目標地図を備えた「地域計画」へ移行されたことから、今後は地域や担い手とともに地域農業の将来を見据えた地域計画を作成します。					
数値目標 ③	項目	野生鳥獣による農作物被害額の半数を占めるイノシシによる稲の被害額				目標種別	↓
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	6,476 千円	6,310 千円	6,144 千円	5,978 千円	
	実績	6,643 千円	3,330 千円	2,497 千円	1,405 千円	1,748 千円	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	有害鳥獣の捕獲を推進し、防護柵設置へ支援を行うことで、農作物被害の軽減を図ります。					

関係所属	
農水振興課、農村整備課、農業委員会事務局	

3. 活力ある産業 ②林業の振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次		
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」や木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などを図ります。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、支援対象に市外の建築主を加え、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標110棟) ・昨年度認定登録されたJ-クレジット制度について、クレジットの交付にかかる森林の現地調査等の審査にのぞみます。 			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により生産制限をしていた製造会社の集材再開により未利用間伐材の需要が増えたことで、木質バイオマス活用量については前年度から増加したものの、目標には達しませんでした。 ・松阪の木を使用した住宅建築の支援棟数は59棟(目標110棟)で、建築資材等の価格高騰により着工時期を見合わせる事例が多く、目標を達成することはできませんでした。 ・昨年度に認定登録されたJ-クレジット制度の認証審査を受け、令和4年度までに施業を行った森林(市有林277haと民有林48ha)を対象とした、1,591t-CO2のクレジットが認証されました。 			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などを図ります。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、支援対象となる住宅の延床面積を70㎡以上から60㎡以上に緩和し、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標115棟) ・J-クレジットの更なる認証に向けて、プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めます。 			

施策の進捗状況								
数値目標 ①	項目	間伐による森林整備面積(累計)				目標種別	↑	
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次						
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	目標	—	1,300 ha	2,000 ha	2,700 ha	3,400 ha		
	実績	588 ha	1,365 ha	2,013 ha	2,958 ha	3,720 ha		
	評価	—	S	S	S	S		
	今後の方針	未整備森林の公益的機能を発揮できるよう、意向調査に基づく整備面積の確保に努めます。						
数値目標 ②	項目	未利用間伐材の木質バイオマス活用量				目標種別	↑	
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次						
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	目標	—	22,000 t	23,000 t	24,000 t	25,000 t		
	実績	21,730 t	23,800 t	9,219 t	8,139 t	10,060 t		
	評価	—	S	E	E	E		
	今後の方針	林地残材の有効活用に向け、「緑の再生事業補助金」及び「森林作業道整備事業補助金」を活用して素材生産量の増加を図るとともに、引き続き「森林活プロジェクト」の周知等を推進します。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	主伐による木材生産量				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	25,000 m ³	27,000 m ³	29,000 m ³	31,000 m ³	
	実績	24,880 m ³	24,988 m ³	28,982 m ³	29,415 m ³	22,233 m ³	
	評価	—	A	S	S	E	
	今後の方針	「緑の再生事業補助金」及び「森林作業道整備事業補助金」の活用を推進するとともに、引き続き架線集材と経営計画の樹立が円滑に行えるよう支援を進めます。					

関係所属
林業振興課

3. 活力ある産業 ③水産業の振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次		
令和5年度 実行宣言			
<p>水産資源の増殖に向けた支援を継続して行うとともに、三重県水産研究所と連携し、覆砂やかぶせ網などの資源保護に向けた取組を進め、漁獲量の増加をめざします。また、漁港施設の長寿命化に向けた整備を計画的に進めます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>水産資源増殖への支援として、ガザミ10万4千尾、車エビ17万6千尾の種苗放流を行うとともに、漁場環境の改善に向けた「碎石覆砂」を行うことで、総水揚金額は前年度比で約400万円増、またガザミの漁獲量が前年度比で4t増となり、ともに目標を達成できました。また、獺師漁港施設の長寿命化を図るため、その整備に向けた設計及び測量業務を行いました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>水産資源の保護と増殖に向けた取組について、継続的な支援を行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	総水揚金額				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	平成元年度(基準) (平成30年度 水揚金額)	令和2年度 (令和元年度 水揚金額)	令和3年度 (令和2年度 水揚金額)	令和4年度 (令和3年度 水揚金額)	令和5年度 (令和4年度 水揚金額)	
	目標	—	425,000 千円	430,000 千円	435,000 千円	440,000 千円	
	実績	419,690 千円	421,020 千円	488,832 千円	448,025 千円	451,984 千円	
	評価	—	E	S	S	S	
	今後の方針	水産資源の保護・増殖と漁場環境の改善にかかる支援を継続的に行い、漁獲量の増加を図ります。					
数値目標 ②	項目	ガザミ放流による漁獲量の増加				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	4 t	7 t	9 t	10 t	
	実績	3 t	4 t	6 t	7 t	11 t	
	評価	—	S	B	C	S	
	今後の方針	ガザミ放流にかかる支援を継続的に行い、安定した漁獲量の増加を図ります。					

関係課
農水振興課

3. 活力ある産業 ④商工業の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
<p>市内中小企業・小規模事業者に対し、ポストコロナやDXなど社会の変化に対応できるよう産業支援センターの機能を強化し、事業所がかかえる経営課題や事業成長課題などの解決のための効果的な事業を展開するとともに、創業支援として女性起業家支援を充実させ、意欲ある女性の新たな活力を引き出します。また、中心市街地商店街や市内の小売業者などの景気回復のため、みえ松阪マラソンも含めた効果的な公民連携の手法を探ります。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>・産業支援センターの相談件数が大幅に増となったことは、特にDX担当の配置が効果的に働いたものですが、全体的にセンターの機能強化がなされたものと考えます。</p> <p>・創業支援においては女性起業家支援セミナーへの出席者数平均値が目標値15人に対し20.5人となり、起業をめざす女性の交流の場の創出に寄与することができました。また、創業者向けの店舗改装費補助や保証料補給金も目標値以上の利用があり創業者のニーズに対応できたものの、実際創業につながった人数は横ばいにとどまりました。</p> <p>・中心市街地商店街においては、みえ松阪マラソンの後夜祭として「カンパイ商店街」を開催し、全国から来られたランナーの皆様のおもてなしをしました。また、駅前駐輪場跡を活用したマルシェや鈴の首市での飲食イベントなどでは公民連携の手法を取り入れ、集客に努めました。結果、「中心市街地営業店舗数」の減幅が抑えられるなど、商店街の活性化に寄与したものと思われれます。</p> <p>・全体として目標値を上回る事業も多く、想定される事業ができたため、星4の評価としました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>中心市街地商店街において、商店街連合会と連携を取り、創業支援のためのチャレンジショップや若者が集える場所等、空き店舗活用にかけた有効な施策を探り、松阪駅周辺の賑わい創出を図ります。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	相談支援から創業につながった人数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	27 人	28 人	29 人	30 人	
	実績	26 人	22 人	18 人	20 人	20 人	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	女性起業家支援事業や店舗改装補助金等創業者に対する施策をPRし、市内創業者増を図ります。						
数値目標 ②	項目	産業支援センターへの相談件数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	686 件	690 件	695 件	700 件	
	実績	681 件	1,147 件	1,405 件	582 件	1,051 件	
	評価	—	S	S	E	S	
今後の方針	各商工会にて月1回程度出張相談窓口を開設し、市内事業所の経営相談が行いやすい環境整備を図り経営支援を行います。						
数値目標 ③	項目	中心市街地営業店舗数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	238 件	239 件	241 件	242 件	
	実績	237 件	237 件	232 件	231 件	234 件	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	空き店舗を活用したチャレンジショップの開設等、商店街連合会と連携し、商店街の活性化を図ります。						

関係課
商工政策課

3. 活力ある産業 ⑤企業誘致・連携の推進

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
新たな産業用地の整備を着実に進めるとともに、中小企業の子育て支援を促進させる取組や公民連携のための情報収集、調整機能の強化を進めます。			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・「企業立地件数」及び「市内事業者に対する連携支援件数」は、いずれも目標値を上回っていますが、それらのバロメータ的指標である「企業等訪問延べ件数」は、令和2、3年度はコロナ禍の影響により200社台に落ち込んでいたものの、令和5年度は463社となり、目標の400社を上回りました。これは東京や大阪での産業経済人交流会の開催を復活できたこと等によるものと考えます。 ・新たな産業用地整備(ウッドピア松阪北地区)については、実質的な用地取得を完了し、都市計画における地区計画の変更手続きも完了したことから、今後の企業誘致活動の進展に寄与するものと考えます。 ・仕事と子育ての両立支援に取り組む市内企業への奨励金制度(くるみん認定取得奨励金)を創設し、認定企業の顕彰を行うなど、中小企業の子育て支援の促進につながりました。 ・ハンズオン支援事業を通じた松阪茶のプロモーションをはじめ、企業と市が一体となった活動を行い、多くの企業との公民連携が進みました。 ・全体としてほとんどの指標が達成されていますが、ハンズオン応募者数が1桁台だったことから星3つの評価としました。 			
↓			
令和6年度 実行宣言			
新たな産業用地の整備を着実に進め、企業誘致につなげるとともに、引き続き中小企業の子育て支援を促進させる取組を進めます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に位置づけられているJ-クレジットの市内での有効活用を図るため、事業者への販売促進に注力します。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	企業立地件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	4 件	6 件	9 件	12 件	
	実績	3 件	7 件	9 件	12 件	14 件	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	企業情報の収集、及び産業用地情報の発信に努め、市内への新規企業進出、及び市内企業の再投資を促進します。					
数値目標 ②	項目	市内事業者に対する連携支援件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	12 件	22 件	32 件	40 件	
	実績	11 件	23 件	35 件	45 件	55 件	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	企業が直面する課題について、個社の実態をていねいに聞き取り、最適な連携を提案します。					

関係所属
企業誘致連携課

3. 活力ある産業 ⑥観光・交流の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
<p>「ポストコロナ観光促進事業」を軸に観光入込客数等の増加につなげるとともに、公民連携に資する民間事業者等との連携・協働による事業を積極的に進め、中山間地区も含めた広域的な観光産業の活性化に努めます。また、ポストコロナ時代の新しい観光需要や観光客層の掘り起こしを進めるため、みえ松阪マラソンとの連携や先進地の情報収集にも取り組みます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入込客数、観光消費額についてはコロナ前の基準には達しなかったものの、それぞれ前年度を上回っており、「ポストコロナ観光促進事業」によるプロモーションサイトやSNSでの情報発信、新たな着地型イベントなどによるコンテンツ充実などは、一定の効果があつたものと思われま。 宿泊者数においてはコロナ前の基準から11%増となっており、プロモーションとコンテンツがうまくかみ合い、宿泊型の旅行者のニーズに対応できた結果と考えます。 イベント実施においては、民間事業者のアイデアや蓄積データを活用できるような手法を取り入れることができました。 中山間地区の観光レクリエーション施設については、施設個々の事情により利用期間が短くなったこともあり、利用者数が減少しているところもありますが、施設整備やSNSでの情報発信を充実したところについては、利用者の満足度が向上しておりリピーター、新規顧客の誘客につながっています。 全体として宿泊者数目標はコロナ前を超えたものの、消費額目標がコロナ前に戻っていないことから星3つの評価としました。 			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、国宝に指定されることになった船形埴輪のPRに積極的に取り組み、部内各課と連携しながら観光客誘致につながる事業を展開します。</p>			

施策の進捗状況								
数値目標 ①	項目	モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均)				目標種別	↑	
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔						
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)		
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %		
	実績	100 %	77 %	67 %	83 %	85 %		
	評価	—	E	E	E	E		
今後の方針	旅行者が安心して、松阪の歴史・文化に触れ、食を満喫し、自然を体験できる環境を提供するため、受入体制の整備や観光資源の磨き上げなどに取り組むとともに、旅先に選ばれるようPRIに引き続き努めます。							
数値目標 ②	項目	観光消費額(推計)増減率				目標種別	↑	
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔						
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)		
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %		
	実績	100 %	45 %	51 %	69 %	87 %		
	評価	—	E	E	E	E		
今後の方針	国内の旅行者数はほぼ回復するものとみており、国内・県内・市内観光で松阪を訪れていただけるような仕組みづくりを、観光事業者等と連携し取り組みます。							

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	101 %	102 %	103 %	105 %	
	実績	100 %	73 %	82 %	97 %	111 %	
	評価	—	E	E	E	S	
	今後の方針	旅行業はコロナ前と同等の回復具合を見せており、円安に伴うインバウンドも増加するものと見込まれ、国内外の旅行者に松阪を選んでもらうため、付加価値を付けた事業を推進します。					

関係所属
観光交流課

3. 活力ある産業 ⑦松阪牛・地域ブランドの振興

評価者	農林水産担当理事 谷川 英次		
令和5年度 実行宣言			
<p>・ふるさと納税の返礼品事業者とともに寄附者の生活や趣味に合う魅力ある返礼品の研究と拡充を進めます。また、申込サイトの販促期間と秋以降においてWeb広告を重点的に実施し、寄付金額20億円をめざします。</p> <p>・「松阪牛まつり」の開催をはじめ、松阪牛関連のホームページのリニューアルや、SNSによる情報発信を行い、更なる松阪牛のPRを図ります。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>・全国的に寄附者ニーズの高い海産物をはじめ、市内焼肉店で利用できる現地決済型サービスの返礼品を拡充したほか、Web広告や返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修に取り組み、寄附額は前年度比で2億2千5百万円上回りましたが、目標の20億円を達成することはできませんでした。</p> <p>・第72回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を開催し、目標の35,000人を上回る40,000人の来場者がありました。また、松阪牛関連の特設サイト「うまっあか！松阪牛」について改修と更新を行うとともに、インフルエンサーによる松阪牛の美味しさや魅力などをSNSを活用して情報発信し、松阪牛のPRを行いました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>・ふるさと納税の利用者が多い関東圏(都市部)における松阪市産の食材(主に松阪牛)を使った料理コースの提供など、寄附者ニーズの高い返礼品の研究と拡充を進めます。また、返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修を更に進めるとともに、人気ポータルサイトでのターゲティング広告を重点的に実施します。</p> <p>・「松阪牛まつり」の開催をはじめ、松阪牛関連の各種イベントへの参加や、SNSによる情報発信を行い、インバウンド需要を見据えた更なる松阪牛のPRを図ります。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	ふるさと応援寄附金の額				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	15 億円	20 億円	20 億円	20 億円	
	実績	11.71 億円	12.87 億円	13.77 億円	14.80 億円	17.06 億円	
	評価	—	D	E	D	C	
	今後の方針	寄附者ニーズを捉えた返礼品の拡充とサムネイル画像の改修を行い、返礼品の価値、魅力の向上を図るとともに、寄附金が集中する年末と申し込みサイトの販促期間にWeb広告を重点的に実施します。					
数値目標 ②	項目	ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方の人数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	30,000 人	33,000 人	34,000 人	35,000 人	
	実績	20,366 人	32,297 人	41,090 人	49,074 人	53,231 人	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	申し込みサイトに、松阪牛を紹介する特設ページを開設するとともに、返礼品を選択する際、大きく作用するレビュー獲得(口コミ)に向けた取組を進め、松阪牛の価値、魅力を高めていきます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率				目標種別	→
	評価者	農林水産担当理事 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	30%	30%	30%	30%	
	実績	30%	—	31.7%	36.2%	31.7%	
	評価	—	—	S	S	S	
	今後の方針	品評会で上位入賞、産地賞を受賞することによる松阪茶の名声向上と、小学5、6年生を対象に茶の歴史・文化などを知ってもらう「松阪茶グランプリ」を開催するなど、松阪茶のPRに取り組みます。					

関係所属
地域ブランド課、農水振興課

3. 活力ある産業 ⑧雇用・勤労者福祉の充実

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
<p>障がい者雇用促進のためハローワーク等とのこれまでの連携を継続するとともに、公民連携による民間事業者との協働も視野に入れ、新たな取組を進めることで障がい者ゼロ雇用の事業者を減らすよう努めます。また、南三重地域若者地元定着推進事業においては求職者を増やす取組を南三重地域の市町とともに取り組んでいきます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>・障がい者雇用率は2.28%となり、わずかに法定雇用率2.30%に到達できませんでしたが、ゼロ雇用事業所は7社減、雇用率上昇(+0.16%)は近年では一番の数値となるなど、障がい者雇用の促進は順調になされていると思われます。これは優良事業所等の表彰制度、バスツアー(優良事業所訪問)の実施や、ゼロ雇用事業所への訪問説明、障がい者雇用優良事業所を訪問し優良事例を研究するなど、長年にわたるハローワークや関係機関、民間事業者との連携事業の成果であると考え、今後も継続して取り組む必要があると考えます。</p> <p>・南三重地域若者地元定着推進事業においては、南三重就活ナビに掲載する事業所延べ数は目標以上の241社となり、求職者の動向の目安となるナビ会員求職者数は141名、閲覧数は11,156件と年々増加傾向で、活用が進んでいることが伺えます。</p> <p>・全体的に想定していた取組は実施され数値目標も達成していますが、障がい者雇用率が法定雇用率に達しなかったことから星3つの評価としました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>R6.4.1より障がい者の法定雇用率が2.5%へ引き上げられました。このことから、ゼロ雇用事業所のみならず障がい者雇用を推進している企業にも、更なる雇用促進を促すよう助成制度や支援制度について啓発をしていきます。</p> <p>また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすため新たな取組を進めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	高校生の地元就職率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	H26-30平均(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	41.3 %	41.9 %	42.5 %	43.0 %	
	実績	40.7 %	41.7 %	43.5 %	45.8 %	45.5 %	
	評価	—	S	S	S	S	
今後の方針	就職を希望する高校生の地元就職の促進資料として、地元の求人予定企業の紹介ガイドブック「企業案内」を作成し、松阪管内及びその周辺の高等学校等へ配布する取組を行います。						
数値目標 ②	項目	障がい者雇用率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	2.20 %	2.30 %	2.30 %	2.30 %	
	実績	1.97 %	2.08 %	2.12 %	2.12 %	2.28 %	
	評価	—	D	D	D	A	
今後の方針	事業者及び市民に対して障がい者雇用の機運を醸成するとともに、障がい者の職業的自立を支援するために、ハローワーク等の関係機関と連携し、障がい者雇用の促進を図る事業に取り組めます。						
数値目標 ③	項目	就労の広場からつながった就職者数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	37 人/年	38 人/年	39 人/年	40 人/年	
	実績	36 人/年	34 人/年	42 人/年	46 人/年	50 人/年	
	評価	—	E	S	S	S	
今後の方針	ハローワークや福祉関連の部署等と連携し、相談者に寄り添った支援を行い、1人でも多くの相談者が就労に繋げられるよう取組を進めます。						

関係所属
商工政策課